

微量元素の欠乏対策!!

生育が思わしくない

葉色がよくない

生理障害が出やすい

こんな時に

液体微量元素複合肥料

メリット® M

〔特 長〕

- 欠乏しやすい微量元素を豊富にバランスよく含有しています。
- 特に不足しやすい鉄・亜鉛を強化しており、要素欠乏による生理障害に効果的です。
- 葉色不良、着果や着色の不良改善によく効きます。

〔成 分〕

登録番号 生第76291号

成分名	苦 土	マンガン	ほう素	鉄	銅	亜 鉛	モリブデン
含有%	1	2.00	0.30	2.00	0.30	2.40	0.102

〔使い方〕

- 微量元素が欠乏している作物に葉面散布する場合
800～1000倍にうすめて、4～5日おきに適宜葉面散布してください。
開花期や果実のついている時期にはうすめ(1000～1200倍)で散布してください。
- 微量元素が欠乏している土壤に灌水する場合
10アールあたり5 kgを300～500倍にうすめて、10日おきに2～3回程度灌水施用してください。

※微量元素が過剰になると障害が出る場合がありますので、施用過多にならないように注意してください。

〔包 装〕

- 1kg、6 kg、20kg

株式会社 生科研

熊本県阿蘇郡西原村鳥子312-4

TEL 0120-376-831

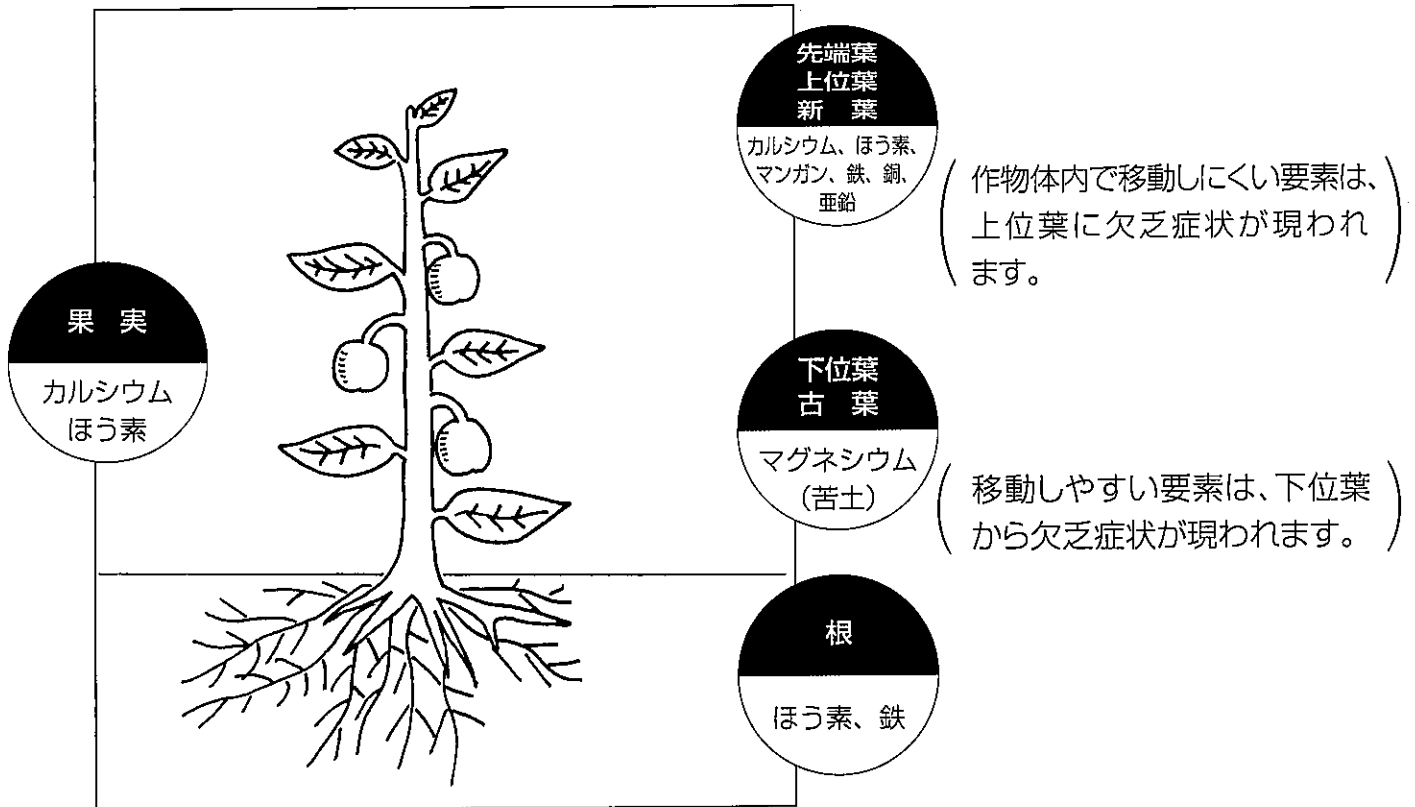
[受付時間] 平日9:00～17:00

<http://www.n-seikaken.co.jp>



MERM-07H

微量元素欠乏症の診断のめやす



※メリットMにはカルシウムは含んでおりません。

- 微量元素の欠乏症状は、1成分だけでなくいくつかが重なりあって現れる場合もあります。
予防のためにも**メリットM**を適正な範囲内で施用し、日頃から微量元素を補いましょう。

土壌栄養バランスの乱れが原因となって欠乏症が現れる場合もあります。
微量元素を含む土壌分析を行い、土壌の栄養バランスを確認してください。

〔注意〕

- 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
- 本液のpHは約2の酸性液体です。(水で300倍希釈時のpHは約4.5です)
- 目に入らぬように注意し、もし目に入った場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
- 皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流してください。
- 高温で日照の強い時など、不適と考えられる条件での散布は、避けてください。早朝もしくは夕刻の涼しい時に散布してください。(特に軟弱野菜は注意)
- 高湿で散布後の液剤が乾燥しにくい時や樹勢の弱い圃では、濃度をうすめにするか散布をひかえてください。
- うすめた液はその日のうちに使い切ってください。
- 直射日光を避け涼しい所に保管してください。
- 沈殿物や結晶を生じることがありますので、よく振ってお使いください。
- 詳しい使い方については、JAまたは農業技術指導機関にご相談ください。